



トガリネズミラヴァー
六田晴洋の

私たちの ご近所さん



VOL. 13 「繁殖期」

長かった冬が終わると、
一気に多くの生き物が繁
殖の季節を迎えます。そ
れは、青々と茂る草木や
活発になる虫など、食べ
物が豊富になる時期に合
わせて子を産んで育てる
ため。そんな生き物たち
を追う私も大忙しの時期
が始まります。

巣立ちビナ

「巣立ちビナ」という
言葉を知っていますか？
鳥のヒナが初めて巣の外



ハクセキレイの巣立ちビナと親鳥



牧草地に集まるエソユキウサギ

へ出ることを「巣立ち」といい、
巣立ったばかりのヒナを「巣立
ちビナ」といいます。意外に思
うかもしれませんが、ヒナは巣
の中で十分成長して巣立つ訳で
はありません。巣立ちビナは体
も小さく、体力もないため上手
に飛べないことがほとんどです。
そのため、親鳥から飛び方だけ
でなく、食べ物とり方、仲間
とのコミュニケーション、外敵

からの身の守り方など、多くの
ことを巣立った後に学びます。
もしも、地面に落ちている巣立
ちビナを見つけてもそつとして
おいてください。人が離れれば
親鳥がやって来て子育てを再開
するはずですよ。

エゾユキウサギの集団お見合い

4月号で「夜以外は姿を見る

ことが難しい」と紹介したエゾ
ユキウサギ。しかし、恋の季節
なら話は別です。白糠町では4
月頃から牧草地などの開けた場
所で、昼間から見る事ができ
ます。それも複数匹。実はこれ
は繁殖のため。春から夏にかけ
て繁殖期を迎えるエゾユキウサ
ギは、開けた場所に集まってパ
ートナーを探します。いわば集
団お見合い。それに夢中なのか、

PROFILE

六田晴洋

ろくたはるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、
フリーランスのカメラマンやディレク
ターとして野生動物や自然風景を撮影
している。E-mail rokuta@six-h.com



この時期は警戒心が薄く、
観察することは比較的簡
単なのです。たいていは
メス1匹に複数のオスが
集まります。ちなみに、
外見だけでオスとメスを
見分けることはできませ
ん。しかしよく観察して
いると、1匹が移動する
と、他がその後を追って
いるのがわかります。そ
の行動から、最初に移動
するのがメス、他がオス
と判断できるそうです。
健気にメスを追うオスた
ちですが、パートナーを
選ぶ権利はメスにあり、
最終的には1匹のオスが
選ばれます。オスは大変
だなあ。ちよつとわかる
よ、その気持ち。